

みなさんこんにちは。 ベーリット*カーセンともうします。ベルゲン大学のいちねんせいです。せんこうは日本語です。今日はどうして日本が大すきになったかについておはなししたいと思います。

五年前に日本の「おもてなし」のことについてべんきょうしたいと思い、

日本へりょ行しました。そのときから、私の新しいじんせいがはじまりました。

日本へむかうひこうきの中でたくさんのはっけんがありました。

たとえば、十一時間のフライトは私にはとてもつらく感じましたが、日本人のじょうきゃくはみな、ほかの人にめいわくをかけないように、ぎょうぎよくすわっていました。

私はノルウェー人と日本人のちがいいにおどろきました。

もうひとつのれいをあげます。

日本では、ちゅうしゃじょうにはなかざっています。

おおくのちゅうしゃじょうがとてもきれいです。

ノルウェーのちゅうしゃじょうにはなかざっていません。

また、私がであったさどうの先生は八十さいの女せいで、

ながいキャリアがあるにもかかわらず、

まだ学ぶことがたくさんあるといいました。

日本人はきんべんでやさしいです。

ちいさい子どもを見ると、ほほえみをうかべます。

おはな見はいちねんの中でいちばんのたのしみです。

日本でぎもんにおもったこともたくさんありました。

とどうじにわかったこともたくさんありました。

日本はほんとうにうつくしいものがたくさんある国です。

ですから日本が大すきになりました。

ごせいちょうありがとうございました。